

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2019年度 助成者)

作成日 2019年 9 月 4 日

氏名 (フリガナ)	吉川 洋佳 (ヨシカワ ヒロカ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2019年8月12日 (月) ~ 8月17日 (土)
大学名	東京慈恵会医科大学医学科
学年	5年

今回医学部夏期集中医学英語研修に参加する機会をいただき、貴重な体験をすることができました。まずは厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。一週間とはとても思えないような充実した濃い一週間でした。あまり症例プレゼンテーションの訓練を受けてこなかった私にとっては、とてもインテンシブな一週間でしたが、どのようなプレゼンテーションが良いプレゼンテーションなのかということがよくわかりました。アメリカを始めとする海外においては、ケースプレゼンテーションの上手い下手によって、その医学生がその症例についてどれくらい深く考察し向き合っているかということがわかってしまう、または示すことができるということが実際どういうことなのか、実践を通してよく理解できました。正しくアセスメントし、鑑別を挙げ、治療プランを立てるための今後医学的知識の猛勉強の必要性を強く感じ、モチベーションが高まりました。

午前中は Hawaii Tokai International College において問診・症例プレゼンテーションのレクチャーを受けたり、友人たちとロールプレイをしてフィードバックをいただいたりなどしました。前日に見つけた課題を克服しようと努めました。また、日が進むごとに全体として設定される課題のレベルが高くなっていったため、自然とレベルアップすることができたように思います。午後は、ハワイ大学医学部へ移動し、ハワイ大学の医学生に患者役をしてもらいながら問診を取り、それをハワイで活躍なさっている先生方に対しケースプレゼンテーションをするという練習を繰り返しました。先生方からいただくフィードバックは、毎回どれも的を射たもので、改善すべき点がよくわかりました。また、ハワイ大学の学生たちは、入学したてであるにもかかわらず、セッションを通してよく勉強していることが伝わってきました。また、全体での症例検討の場においても各人の発言量が多く、見習わなければと思いました。

先生方によるレクチャーでは、アメリカ・ハワイの医療や、ハワイでの医師としての生活、アメリカでのトレーニングの道や、これから未来の医療はどうなっていくのか、など、多くの視点と情報を得ることができました。加えて、先生方に質問をすることを通して、先生方個別のエピソードや秘訣など、その場でしか得られないことを伺うことができました。さらに、たくさんアドバイスをいただき、おかげで私の将来は確実にいい方向へ進んだと断言できます。

私は来年イギリスやアメリカで臨床実習を行う予定ですが、海外での臨床実習の準備としても非常に有益であり、もしこのプログラムに参加していなかったら向こうで大変な思いをしたであろうことは間違いありません。アメリカで臨床及び研究に従事したいと考えている私にとって、この機会はその貴重なファーストステップであり、実り多い体験となりました。このプログラムで出会うことができた方々との繋がりは私の一生の宝です。今後もこの気持ちを忘れず、学業に励んでいく所存です。